

足立健康友の会 かばら支部ニュース

第10号
2009年5月21日
Tel: 3605-5594
<http://kabara-tomonokai.kenwa.or.jp/>

第8回かばら支部総会 55名参加

安心して住みつけられる街づくりをめざし

五月十七日(日)デイサービスセンターでかばら支部第8回総会が行われました(参加者55名)

冒頭、足立健康友の会米倉会長が、生活と医療・介護が大変な状況に追い込まれる中、浅草雷門での看護師さん達の訴えにお店の方が署名用紙を持って来てくれるなど、足を踏み出せば国民の応援を得られることを話されました。



健和会事務局長の平松さんは、みさと病院新病棟が緩和ケア病棟や救急エリアを備えることができ

たが、これはかつてない多くの法人債応募など友の会員の協力のおかげだとお礼を述べられました。千住介護専門学校の前田さんは、今年37名(定員40名)と多くの学生が入学した。これは、介護士不足と派遣切りなどが社会問題となる中、政府が授業料助成や失業手当を出すなどの施策を反映したものである。引き続き支援をお願いしたいと話されました。

続いてメッセージが2つ。大島よしえ区議から、後退した東京都の福祉を取り戻すため都議会議員選挙に出る予定であること。ぜんそく患者家族の会の今井さんから、医療費無料化を気管支炎患者などにも広げる運動を続けてい

ること」が読み上げられました

もっと楽しく、もっと活発に

(08年度報告と09年度方針) 2008年度は、行事での参加者が過去最高になったこと、また新規入会者が目標を上回る97名、新班が一つ、機関誌の「いつでも元気」が15部増えるなど、会を大きくしつかりしたものにすることも成果があったことが報告されました。これらは、支部活動を従来の延長でなく3つの柱を決めて計画的に進めた結果であることが強調されました。

引き続き、楽しかった友の会活動の内容がそれぞれ担当した方から報告されました。特に、新春のつどいは玉すだれ、歌、踊り、寸劇と盛りだくさんの催しで大変楽しく、かつ宮崎さんの講演「死ぬまで元気でパート2」で元気をもらえたことが生き生きと報告されました。

09年度はこの方向をもっと強めることが確認されました。

吉田万三さんの講演

「民医連の新しい綱領について」

全日本民医連の副会長をされている吉田万三先生から民医連の新しい綱領の討論が進んでいることが報告されました。

最初に民医連の歴史と今果た

している役割をつづつたビデオを見ました。印象に残ったことは民医連が、医療を「患者と医療従事者の共同のいとなみ」と考えていること、神戸震災や年越し派遣村での支援に取り組んだこと、医療・介護を国民の権利ととらえて運動していることなどです。



続いて、吉田さんから今進んでいる討論のポイントが報告されました。憲法9条と25条を活かす、共同組織を明記する、地域作りに役割を果たす、保険がなく病院に來られない人達を含む幅広い人たちに応えるなどです。

最後に、今は世の中の変わり目にある。明治維新も前後10年の社会的激動を経て実現した。私たちも世の中の変わり目であること認識して綱領変更にとりくもうと結ばれました。

(註) 綱領とは、組織の基本方

針の大意を表した文書

新役員が5名

役員として、池田支部長以下32名、会計監査2名、名誉役員3名が承認されました。内、5名が新任役員で、ますます充実した布陣となりました。

今年も楽しくやりましょう!

(担当 久保正雄)

東部ふれあいまつり

青空健康チェック

前日の雨も上がり快晴の六木公園。でも風が強く机の上の物が風にあおられています。雨が降らな



最初は、知人を強引に連れて来てチェック。そうするとチラホラお客さんが来ました。しっかりゲ

ット。八田看護師が一人一人丁寧

に説明、健康相談へと移行。皆さんも次から次へと心配事を出して来ます。いい雰囲気です。辰沼、六木地区なので、蒲原診療所を知らない人が多いのです。八田看護師や友の会の人たちが、場所、行き方(バス)、健康診断(特定健診)もやっている事等一生懸命説明します。



初めて青空健康チェックを行った地域なので、一人でも多く蒲原(歯科)診療所を知ってもらおう為に奮闘しました。

当日、チェックを受けて下さった方は19名、医療相談1名の合計20名で、少々少な目ですが、一人一人長い時間向き合い和気合い合いと楽しく出来ました。おかげで新しい場所でしたが3名の方が健康友の会に入会していただきました。 担当 大谷内和子

みさと健和病院新棟完成

地域医療を守る拠点病院であるみさと健和病院の新棟が完成し5月連休明けからオープンします。その新棟祝賀会が4月29日に関係者960名余の参加で執り行われました。

かばら支部からも「こもれび」が他の足立のサークルと合同で参加してコーラスを披露、祝賀会を盛り上げていただきました。



かばら支部役員は18人が参加祝賀会の前には内覧会が実施され目玉である7階の庭園付きの緩和ケア病棟からはじまり、6階の個室病棟、5人室・4人室を順次視察しました。どの病室も従来よりも広くゆったりとしたスペースが確保され、また、どの部屋にもシヤワー室が完備していて快適な療



養ができると思いました。

祝賀会では、三郷市長(代理)や医師会代表も出席して新棟誕生のお祝いと地域の医療への大きな期待が寄せられました。

担当 渡辺政次

職員紹介
仕事熱心な縁の下の力持ち

東都企画 小山和子さん

蒲原診療所・蒲原歯科診療所・デイサービスなどの施設がある、蒲原ビル他の清掃担当責任者の小山和子さんを紹介します。

小山さんは今の会社に勤めるまではれっきとした医療人でした。歯科医院の受付をやっていたのです。レセプト出しから事務一般に精通しています。

清掃の仕事に移ってからの働きぶりは、几帳面の上に確実です。

環境整備がきちんと行われている職場で働く、職員も、そこを利用する患者さんたちからも感謝の声が届きます。

この5月より住居のある六木地域で「下町の健康」を手配りしてくれることになりました。退職したら、かばら友の会のお手伝いをしたい」と言ってくれています。事務局担当者としてこれに勝る励ましはありません。

これからもますます元気でご活躍ください。 嶺岸宏

2009年度

特定健診・保健指導について
昨年から自治体健診がなくなり、新しい健診制度が発足しました。

主な変更点は、健診の実施主体が保険者になったことです。足立区国保加入者には、足立区から受診券が郵送されます。足立区民でも社会保険加入の方には、足立区から受診券が発行されることはなく、加入されている保健組合から発行されます。家族の方についても同じです。社会保険加入者家族によつては、近隣医療機関で健診が出来ない場合が発生。健診の目的が変更になりました。病気の早期発見のための健診から、生活習慣病(主な疾患に、「高血圧症」、「糖尿病」、「高脂血症」などがあります。)の早期発見と対策(特定

保健指導)への変更です。生活習慣病対策として、特定保健指導が位置づけられました。比較的軽い方は動機付け支援、もっと重い方には積極的支援を、ご本人の希望意思により、一定の研修と実績を持った医師・保健師・管理栄養士が、6ヶ月間習慣病克服のためのプログラムを作成し、支援する制度です。

09年度足立区健診は、昨年度とほぼ同じです。変更点としては、血液検査が2項目追加されました。受診券と一緒に問診表が郵送されます。予め問診表に記入すると待ち時間が短縮されます。

郵送時期の変更です。6月中旬発送：40〜64歳・75歳(後期高齢者)、7月中旬発送：65歳〜74歳まで。健診実施有効期限は、上記どちらとも11月30日締切です。

以上、現在わかっている変更事項です。それでは、友の会の皆様、混雑をさげ、早めに健診を受けましょう！

大腸がん検診は、保険種類に関係なく、40歳以上の足立区民は無料で受けられます

(大腸がん受診券は近くの保健総合センター窓口でも発行してくれます。面倒がらずに是非受けましょう！ 大脇貴美子(事務長)